

435 古典攷究会盛況

〔『法学新報』第26卷10(302)号 大正5年11月1日〕

○古典攷究会盛況 我邦の古典を研鑽するを以て目的とする古典攷究会は開会以来会を重ねること既に十数回に上り講師川面

凡児氏の講演は毎月古典講義録として出版し日に盛況を呈し来り今夏信州戸隠に於ける夏の禊の行事の如き出席者実に二百三十余の多数に達したりと云ふ会員は日に増加を来し事務所は従来日本橋区上横町に在りしも先般来麻布区桜田町六十三番地に移り毎月第一日曜日午後六時より中央大学に於て講演会を開き居れり同会の目的とする所は我神洲神なからの道を究め精神の修養、世道人心の維持に貢献する所あらんとするに在りて極めて有益なる事業と謂ふへし因に本会会員たらんと欲する者は毎月賛助会員金壹円、在京会員金五十銭を会費として納付すれば何人も会員たることを得べく会員は毎月講義録の頒付を受くることを得る規定なりと吾人は切に同会の隆昌を希望せざるを得ざる者なり